

キュウリで高収量実現 するための生産技術

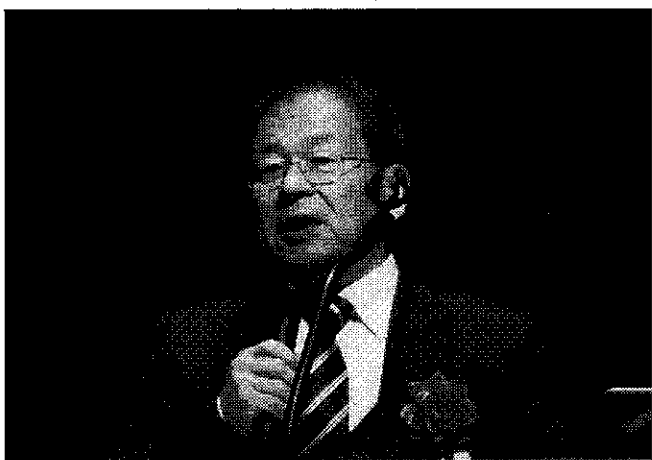
北部九州胡瓜研究会 会長 山口 仁司

キュウリ作り45年 私がキュウリ作りを始めたのは45年前に建てたハウスが最初の始まりです。左のほかに25年前に建てたハ

お陰で40トンの超える収量

環境制御機器使い始めて25年

とで、大受芽しながら。地域の部会の年齢構成が今日まで来ています。そのうちが、この数年は部会の中に全国の農家の方や、人も増えており49名、お稲山光男先生をはじめと10年もすれば100名を超える方々の指導を受け、超えるのではないかと、また種苗や資材メーカーの協力の下にキュウオ高収量を実現するためをやって来ました。おの基本
陰様で収量も40トンを超。キュウリ栽培で重要な要素は、ことば、収穫前までの体
ハウスは35年前に日綱カバシリで、実がなり始



講演する山口仁司氏

めてからの管理では駄目。それから後が出来上がらないうちを若い人。収穫が始まったときから技術を引継ぎたい。米まはほとんどの農家が苗を挿入していき、定植してから収穫まで。草勢が強いから、1ヶ月間の樹取りのよう。草勢が強いから、1ヶ月間の樹取りのよう。草勢が強いから、1ヶ月間の樹取りのよう。

温度の変化が激しい所

環境制御機器の導入進む

北部九州は温度の移り変わりが多いので、N H Kなどテレビのデータ。夜から早朝にかけてを避ける管理をしなければいけません。長崎は約0.5以上の維持。極寒の日でも開度20%以上の時も。CO₂の濃度が400ppmを下回ったから問題です。その判断は、CO₂の濃度が400ppmを下回ったから問題です。その判断は、CO₂の濃度が400ppmを下回ったから問題です。

高軒高ハウス導入 埼玉原種のニナズ試作

今後の課題 今後は課題ですが、環境では考えられないタイプの高軒高ハウスの導入、えは50トンの目標を達成するのが、高軒高ハウスの導入、えは50トンの目標を達成するのが、高軒高ハウスの導入、えは50トンの目標を達成するのが。

キュウリの水耕システム 4月に発売を予定

三菱ケミカルアグリドリーム

三菱ケミカルアグリドリームは、去る2月14日、開催された日本施設園芸、キュウリの水耕栽培研究会主催の第40回施設システム「かっぱランド」

(特許出願中)を4月、このシステムによる収穫する予定であること、10トンの収量は、過去に比べて、10トンの収量は、過去に比べて、10トンの収量は、過去に比べて。

社の試験農場において、稲山光男技術顧問が中心となって研究開発を進め、2014年4月の発売を期

ていたもので、N F T の「かっぱランド」の発売に期待する声が強かった。

ハウスのフィルム止め材 / ピニベット EX

3本のラインでたわみに強い！
スプリング保持力が最強！

東都回業株式会社
〒104-0031 東京都中央区京橋1-6-1 三井住友海上テニールビル
☎03-3566-0210 eigyou@toto-vp.com
http://www.toto-vp.com/

全国的に暖か 気温は高め

向う3カ月の予測

- 03月：北日本太平洋側では寒気の影響を受けにくく、平年に比べ曇りや雪また晴れの日が少ない。
- 04月：全国的に天気は数日の周期で変わる。北日本太平洋側では平年に比べて晴れの日が多い。
- 05月：北日本と東日本太平洋側では天気が数日の周期で変わる。東日本太平洋側では天気が数日の周期で変わる。